

# 鍵盤ハーモニカの指導上の課題

## —器楽合奏集の分析を中心として—

山本 千紗

### 要旨

本論文の目的は、市販されている器楽合奏集の分析を通して必要となる鍵盤ハーモニカの演奏技術の把握を行い、それを基に、保育者養成校において、学生たちがどのような力をつけておくべきかを検討することである。4歳児および5歳児のために作られた器楽合奏集の楽譜を分析したところ、ポジション移動および黒鍵の使用頻度が非常に高かった。また、5歳児の楽譜では、指ひろげ、指くぐり、指またぎのいずれも必要とされていた。それに対し、小学校低学年の音楽科用教科書を分析したところ、第1学年ではポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、黒鍵のいずれも不要であった。音楽科用教科書には学習の手順や運指番号が示されているが、器楽合奏集にはそれらが示されていることは少ない。これらの分析結果から、特に保育士・幼稚園教諭を目指す学生には、ピアノ演奏ができるようになるだけでなく、楽譜を読みとる力、必要となる演奏技術を見抜く力、学習手順を考える力、子どもの躓きに気付く力の育成を要すると考える。

キーワード：鍵盤ハーモニカ、運指、器楽合奏集、教科書、保育者養成課程

### 1. はじめに

小学校音楽科では、器楽活動において第1学年及び第2学年で取り上げる身近な楽器は、様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなどの中から学校や児童の実態を考慮して選択すること<sup>1)</sup>と示され、オルガンや鍵盤ハーモニカは視覚と聴覚の両面から音を確かめつつ演奏できる楽器<sup>2)</sup>として挙げられている。鍵盤ハーモニカは必ず取り扱わなければならない必修の楽器ではないが、実際には多くの小学校で低学年の身近な楽器として扱われており、最近では、幼稚園・保育園の音楽活動でも鍵盤ハーモニカが扱われている。2009年に全国の幼稚園教諭を対象に行った調査結果<sup>3)</sup>では、69%の幼稚園で鍵盤ハーモニカを使用していること、また2012年に大阪府の幼稚園・保育園に勤務する保育士を対象に行った調査結果<sup>4)</sup>では、71%の園で鍵盤ハーモニカを使用していることが報告されており、谷村は鍵盤ハーモニカを使用していない幼稚園は公立幼稚園とキリスト教系の幼稚園がほとんどであったことから、公立幼稚園では幼稚園教育要領に準じた保育を行い、小学校教育との接続についても意識している、と指摘している<sup>5)</sup>。

鍵盤ハーモニカの運指についての先行研究としては、奥田(2016)、平塚(2016)、谷村(2012)、平澤(2008)などが挙げられる。これらの中には、鍵盤ハーモニカの演奏には必要となる演奏技術が多いこと、幼児の中には1の指しか使えない子どももいることなどに言及する研究はあるものの、その難しさに向き合うための教師力育成について触れられている研究は見受けられない。

筆者はこれまで、小学校音楽科用教科書および指導書に掲載されている鍵盤ハーモニカの活動に関わる内容の分析から、(1)導入、(2)運指、(3)掲載曲、(4)必要な演奏技術の4項目について検討している。その分析結果によると、①1970年、②1976年、③1979年、④1992年、⑤2002年、⑥2010年、⑦2015年の第1学年の教科書に掲載された鍵盤ハーモニカを学習するための全59曲のうち、演奏技術としてポジション移動が必要な曲は7曲であった。さらに、その7曲のうち、6曲はドレミファソラの6音を使用、1曲はレミファソラシドレの8音を使用していた。2015年の第1学年の指導書に、「1年生の段階では、ポジション移動を学習していないため、分担奏になっていることに留意する。」とあるが、実

際には6音で旋律が作られていることを指摘している<sup>6)</sup>。

本論では、小学校入学前の鍵盤ハーモニカを使った活動に目を向け、市販されている幼稚園および保育園向けの器楽合奏集の分析を通して、保育者養成課程に在籍する学生たちにどのような力を育成すべきなのかを検討し、幼児を対象とする鍵盤ハーモニカの指導に必要なと考えられる課題を見出すことを目的とする。

### 2. 器楽合奏のための楽譜集

器楽合奏のための楽譜集は様々な出版社から出版されているが、その中から「園で使える〜」「保育のための〜」などのタイトルが付けられた楽譜集や、「2・3歳児で難しいようであれば〜」といった文言の記載のある曲集を確認した。そのいずれも、ポジション移動や指ひろげ、指くぐり、指またぎなどが多用されており、ピアノ教室に通う子どもを対象とした指導でも難易度が高いと思われるようなものもあった。また、それらの楽譜集には「黒鍵が多いので気をつけましょう」「3歳以上ならメロディ楽器が欲しいですね」「2・3歳児であれば擬音の部分のみでも良いでしょう」などのワンポイントアドバイスが書かれているものがほとんどであった。これらの器楽合奏集の中から、年齢順、難易度順に並べられており、楽器の使い方や練習の進め方について具体的に記載されている1冊を選び、器楽合奏集の鍵盤ハーモニカのパートを分析する。

2歳児および3歳児の曲には鍵盤ハーモニカは使用されておらず、4歳児および5歳児の曲にはほとんど鍵盤ハーモニカが使用されている。また、楽器の使い方については、小学校1年生で学ぶ鍵盤ハーモニカ導入の内容を押さえて紹介されている。ただし、合奏の事前練習として、同音連打の指替え練習をしておくようにとの記載が見受けられることから、小学校音楽科教科書・指導書にある同音のタンギング奏法への意識はないことが伺える。

#### 2.1 4歳児に分類された掲載曲

4歳児に分類された全13曲のうち、鍵盤ハーモニカのパートがある11曲の演奏技術について分析する。

① 踊ろう楽しいポーレチケ

ポジション移動無し。必要な演奏技術は順次進行のみで、使用する音および運指は次の通りである。



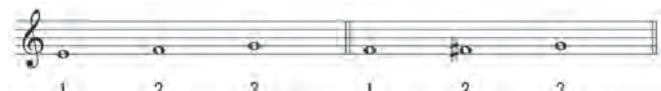
② おどるポンポコリン

ポジション移動無し。必要な演奏技術は順次進行, 3度および4度跳躍進行で、使用する音および運指は次の通りである。



③ エーデルワイス

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行および3度跳躍進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



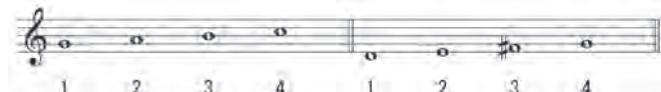
④ いつも何度でも

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行および3度跳躍進行で、使用する音および運指は次の通りである。



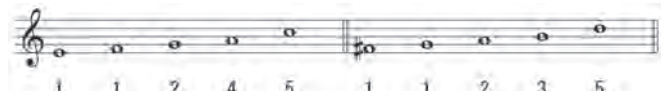
⑤ にんげんっていいな

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行, 3度および4度の跳躍進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑥ スーパーカリフラジリスティックエキスパリドーシャス (原文ママ)

必要な演奏技術は、ポジション移動, 指ひろげ, 順次進行, 3度および4度の跳躍進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。通常、黒鍵に1の指を使用しないが、この運指でなければポジション移動が2回必要となる。



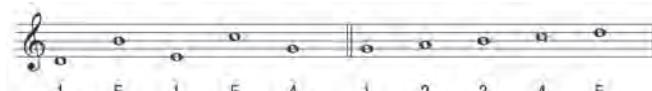
⑦ 夢をかなえてドラえもん

必要な演奏技術は、ポジション移動, 指またぎ, 順次進行, 3度跳躍進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑧ 小さな世界

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行, 3度・4度・5度・6度・7度の跳躍進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑨ ハッピーチルドレン

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行, 3度跳躍進行で、使用する音および運指は次の通りである。



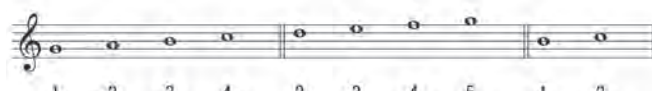
⑩ よろこびのうた

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑪ 「四季」より「春」

必要な演奏技術は、ポジション移動, 順次進行, 3度および4度跳躍進行で、使用する音および運指は次の通りである。



2.2 5歳児に分類された掲載曲

5歳児に分類された全16曲のうち、1曲は鍵盤ハーモニカが含まれていない。鍵盤ハーモニカのパートがある15曲のうち、鍵盤ハーモニカ1パートの曲は3曲、残りの12曲は2パート（鍵盤ハーモニカ1、鍵盤ハーモニカ2）に分かれて演奏する。それぞれ、必要な演奏技術について分析する。

① ふしぎなポケット

必要な演奏技術は、順次進行, 黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



② 思い出のアルバム

必要な演奏技術は、ポジション移動, 指またぎ, 順次進行, 3

度および4度の跳躍進行で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

③ 君をのせて

必要な演奏技術は、ポジション移動、指またぎ、順次進行、3度跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

④ 勇気100%

必要な演奏技術は、指くぐり、指またぎ、順次進行で、使用する音および運指は次の通りである。

⑤ ミッキー・マウス・マーチ

必要な演奏技術は、ポジション移動、指またぎ、順次進行、3度および4度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

⑥ 翼をください

必要な演奏技術は、指またぎ、順次進行で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

⑦ 威風堂々 行進曲第1番より

必要な演奏技術は、ポジション移動、指またぎ、順次進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

⑧ ムーン・リバー

必要な演奏技術は、指くぐり、順次進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

⑨ チキ・チキ・バンバン

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、順次進行、4度および5度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

⑩ カッコウ・ワルツ

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、順次進行、3度および4度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

⑪ 聖者の行進

必要な演奏技術は、ポジション移動、順次進行、3度跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。

鍵盤ハーモニカ 1

鍵盤ハーモニカ 2

鍵盤ハーモニカ 2

鍵盤ハーモニカ 2



⑫ ビビディ・バビディ・ブー

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、順次進行、3度および4度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑬ 崖の上のポニョ

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、順次進行、5度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



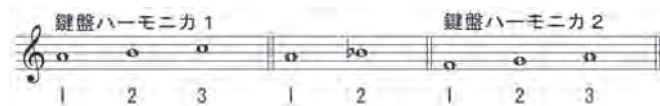
⑭ 宇宙戦艦ヤマト

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、順次進行、3度および4度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



⑮ Jupiter

必要な演奏技術は、ポジション移動、指ひろげ、順次進行、3度および4度、5度の跳躍進行、黒鍵への意識で、使用する音および運指は次の通りである。



以上の分析結果となった。ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、黒鍵の使用について、表にしてその数を示す。

表1 器楽合奏集に掲載されている曲に必要な演奏技術

|     | 曲番 | ポジション移動 | 指ひろげ | 指くぐり | 指またぎ | 黒鍵 |
|-----|----|---------|------|------|------|----|
| 4歳児 | ①  |         |      |      |      |    |
|     | ②  |         |      |      |      |    |
|     | ③  | ○       |      |      |      | ○  |
|     | ④  | ○       |      |      |      |    |
|     | ⑤  | ○       |      |      |      | ○  |
|     | ⑥  | ○       | ○    |      |      | ○  |
|     | ⑦  | ○       |      |      | ○    | ○  |
|     | ⑧  | ○       |      |      |      | ○  |
|     | ⑨  | ○       |      |      |      |    |
|     | ⑩  | ○       |      |      |      | ○  |
|     | ⑪  | ○       |      |      |      | ○  |
| 5歳児 | ①  |         |      |      |      | ○  |
|     | ②  | ○       |      |      | ○    |    |
|     | ③  | ○       |      |      | ○    | ○  |
|     | ④  |         |      | ○    | ○    |    |
|     | ⑤  | ○       |      |      | ○    | ○  |
|     | ⑥  |         |      |      | ○    |    |
|     | ⑦  | ○       |      |      | ○    | ○  |
|     | ⑧  |         |      | ○    |      | ○  |
|     | ⑨  | ○       | ○    | ○    |      | ○  |
|     | ⑩  | ○       | ○    |      |      | ○  |
|     | ⑪  | ○       |      |      |      | ○  |
|     | ⑫  | ○       | ○    |      |      | ○  |
|     | ⑬  | ○       | ○    |      |      | ○  |
|     | ⑭  | ○       | ○    |      |      | ○  |
| ⑮   | ○  | ○       |      |      | ○    |    |

ポジション移動が必要な曲は4歳児の曲82%、5歳児の曲73%、指ひろげが必要な曲は4歳児の曲9%、5歳児の曲40%、指くぐりが必要な曲は4歳児の曲0%、5歳児の曲20%、指またぎが必要な曲は4歳児9%の曲、5歳児の曲40%、黒鍵への意識が必要な曲は4歳児の曲64%、5歳児の曲80%となっている。

3. 令和2年発行の小学校音楽科用教科書

次に、小学校低学年での鍵盤ハーモニカの学習について触れる。令和2年発行の小学校音楽科用教科書、教育出版『おんがくのおくりもの』および教育芸術社『小学生のおんがく』を分析し、これらの教科書に掲載されている鍵盤ハーモニカを学習する曲の、ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、指ちぢめ、黒鍵の演奏技術の頻出度をみていくこととする。

① 教育出版『おんがくのおくりもの』

『おんがくのおくりもの1』には、鍵盤ハーモニカを学習する曲として①「どきどきどき」②「まほうのど」③「あのね」④「どんぐりぐりぐり」⑤「すずめがちゅん」⑥「きらきらぼし」の6曲が掲載されている。ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、指ちぢめ、黒鍵のいずれも必要としない。「きらきらぼし」では、ポジション移動をしないよう、鉄琴との分担奏が指示されている。

『音楽のおくりもの2』では、鍵盤ハーモニカを学習する曲として①「かえるのがっしょう」②「かっこう」③「ドレミのトンネル」④「こぎつね」⑤「アンダルコの歌」⑥「さんぽ」の6曲が掲載されている。そのうち、ポジション移動を学習する曲が4曲、指ひろげを学習する曲が2曲、指くぐりを学習する曲が1曲、指またぎを学習する曲が2曲、指ちぢめを学習する曲が2曲、黒鍵への意識が必要な曲は0曲となっている。

ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、指ちぢめ、黒鍵の使用について、表にしてその数を示す。

表2 教育出版『おんがくのおくりもの』

|     | 曲番 | ポジション移動 | 指ひろげ | 指くぐり | 指またぎ | 指ちぢめ | 黒鍵 |
|-----|----|---------|------|------|------|------|----|
| 1年生 | ①  |         |      |      |      |      |    |
|     | ②  |         |      |      |      |      |    |
|     | ③  |         |      |      |      |      |    |
|     | ④  |         |      |      |      |      |    |
|     | ⑤  |         |      |      |      |      |    |
|     | ⑥  |         |      |      |      |      |    |
| 2年生 | ①  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ②  |         |      |      |      |      |    |
|     | ③  |         |      | ○    | ○    |      |    |
|     | ④  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ⑤  | ○       | ○    |      |      | ○    |    |
|     | ⑥  | ○       | ○    |      | ○    | ○    |    |

複数の演奏技術が必要となる⑤「アンダルコの歌」と⑥「さんぽ」の楽譜を示す。

楽譜「アンダルコの歌」



楽譜「さんぽ」



② 教育芸術社『小学生のおんがく』

『小学生のおんがく1』には、鍵盤ハーモニカを学習する曲として①「たのしくふこう」②「どんぐりさんのおうち」③「どれみであいさつ」④「なかよし」⑤「きらきらぼし」⑥「とんくるりんぱんくるりん」⑦「こいぬのマーチ」の7曲が掲載されている。基

本的には全てドレミファソの5音で演奏できる曲となっている。

「こいぬのマーチ」では、ポジション移動をしないよう、鉄琴との分担奏が指示されている。「きらきらぼし」は『音楽のおくりもの1』の「きらきらぼし」と同様に分担奏を基本としているが、1・3フレーズめに鉄琴（鍵盤ハーモニカ）との記載があり、鍵盤ハーモニカで演奏する場合はポジション移動および指ひろげを必要とする。

『小学生の音楽2』では、鍵盤ハーモニカを学習する曲として①「かっこう」②「かえるのがっしょう」③「ぷっかりくじら」④「山のポルカ」⑤「こぎつね」⑥「こぐまの二月」⑦「ドレミであそぼ」⑧「アイアイ」の8曲が掲載されている。「山のポルカ」はポジション移動をすれば全曲通して演奏することができるが、ポジション移動をせずに演奏できるよう、鍵盤ハーモニカ1・2の分担奏となっている。ポジション移動を学習する曲が5曲（「山のポルカ」を含める場合は6曲）、指ちぢめを学習する曲が1曲となっており、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、黒鍵への意識が必要な曲は0曲となっている。

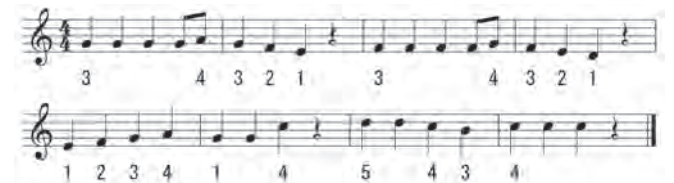
ポジション移動、指ひろげ、指くぐり、指またぎ、指ちぢめ、黒鍵の使用について、表にしてその数を示す。

表3 教育芸術社『小学生の音楽』

|     | 曲番 | ポジション移動 | 指ひろげ | 指くぐり | 指またぎ | 指ちぢめ | 黒鍵 |
|-----|----|---------|------|------|------|------|----|
| 1年生 | ①  |         |      |      |      |      |    |
|     | ②  |         |      |      |      |      |    |
|     | ③  |         |      |      |      |      |    |
|     | ④  |         |      |      |      |      |    |
|     | ⑤  |         |      |      |      |      |    |
|     | ⑥  |         |      |      |      |      |    |
|     | ⑦  | (○)     | (○)  |      |      |      |    |
|     | ⑧  |         |      |      |      |      |    |
| 2年生 | ①  |         |      |      |      |      |    |
|     | ②  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ③  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ④  | (○)     |      |      |      |      |    |
|     | ⑤  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ⑥  | ○       |      |      |      | ○    |    |
|     | ⑦  | ○       |      |      |      |      |    |
|     | ⑧  |         |      |      |      |      |    |

「こぐまの二月」は、(鍵盤ハーモニカ)の記載があり、鍵盤ハーモニカで演奏する場合はポジション移動、指ちぢめの演奏技術を使って演奏する。

楽譜「こぐまの二月」



### ③ 小学校音楽科用教科書と器楽合奏集の共通曲

低学年の教科書と器楽合奏集に共通曲はあったが、鍵盤ハーモニカのパートがなかった。そこで第3学年の教科書と器楽合奏集の鍵盤ハーモニカのパート譜を比較する。どちらにも掲載されている曲は3曲あったが、そのうち「ミッキー・マウス・マーチ」は調性が異なるため割愛することとし、「エーデルワイス」および「聖者の行進」を比較することにした。「聖者の行進」は、器楽合奏集では転調するが、教科書のサイズに合わせて転調部分を省略して示している。譜例のパート1は主旋律、パート2は教科書の鍵盤ハーモニカ、パート3は器楽合奏集の鍵盤ハーモニカとなっている。

#### 譜例「エーデルワイス」

The image shows a musical score for 'Edelweiss' in 3/4 time. It is divided into three parts: 1. Main Melody (主旋律), 2. Textbook Keyboard Harmonica (教科書), and 3. Instrumental Ensemble Keyboard Harmonica (器楽合奏集). The score consists of 12 staves. The first three staves correspond to the three parts mentioned. The instrumental ensemble version includes a piano introduction and a key signature change to one sharp (F#) in the later part of the piece.

#### 譜例「聖者の行進」

The image shows a musical score for 'The March of the Saints' in 2/4 time. It is divided into three parts: 1. Main Melody (主旋律), 2. Textbook Keyboard Harmonica (教科書), and 3. Instrumental Ensemble Keyboard Harmonica (器楽合奏集). The score consists of 12 staves. The first three staves correspond to the three parts mentioned. The instrumental ensemble version includes a piano introduction and a key signature change to one sharp (F#) in the later part of the piece.

譜例「エーデルワイス」は教育芸術社『小学生の音楽3』と4歳児の器楽合奏集との比較である。第3学年ではドレミファソの6音を使用し、指ひろげ、指くぐり、指またぎの演奏技術が必要になるが、4歳児では基本的にミファソの3音のみ、1度だけ#ファを使用している。黒鍵が出てくるが、休符のあいだにポジション移動することにより運指番号123のみで演奏できることから、4歳児

の楽譜の方がずいぶんと簡単に作られていることが分かる。

譜例「聖者の行進」は教育出版『音楽のおくりもの3』と5歳児の器楽合奏集との比較である。第3学年ではソラシドレの5音のみでポジション移動無しで演奏できるのに対し、5歳児では第1パートが8音、第2パートが7音使用しており、いずれもポジション移動が必要となるため、運指としては5歳児の方が難しい。

このように、同じ曲でも編曲によって難易度に関きがあることが分かる。器楽合奏集のように難易度が示されている場合でも、曲全体の難易度であって鍵盤ハーモニカの難易度を示すものではないため、それぞれの楽器の難易度を見極める力も必要だといえる。

### 4. 合奏曲集の分析から

4歳児および5歳児向けの器楽合奏集の分析から、保育者養成課程に在籍する学生がどのような力を身につけておくべきかを検討する。必要な演奏技術として、ポジション移動や指ひろげが多く出てくることから、それぞれのポジションの運指を的確に見分ける力を身につけなければならない。同じフレーズを演奏するのにも、運指次第で難易度が異なってくる。音楽活動のねらいは、音が出ることを楽しんだり、音楽を好きになったり、友だちと音を合わせる喜びを感じることである。保育者が運指を決めて子どもたちに伝えたとしても、子どもたちがその指で弾けるとは限らないし、運指を守って演奏することが目的になってはならない。しかし、演奏の一助となる運指方法を検討する力は、保育者として身につけておくべき力の1つであろう。

#### 4.1 5指のポジションの運指

まず、指ひろげや指くぐりなどのない、5指で演奏することができる場合の運指について検討する。同じフレーズを演奏するのにも、運指次第で難易度が異なってくるため、ポジションごとに運指を考えなければならない。例えば、4歳児の曲として掲載されていた『にんげんっていいな』では4小節間の休符を挟んでポジション移動が行われ、2つめのポジションはミの音から始まる。その部分の楽譜を抜き出して譜例1として示す。

#### 譜例1

The image shows a musical score for 'Example 1' in 2/4 time. It consists of two staves. The first staff shows a piano introduction with a key signature change to one sharp (F#). The second staff shows a sequence of notes starting from the middle C (Mi) position.

ピアノ経験のない学生は、ド = 1の指と認識していることが少なくない。その場合、譜例1は3の指から弾き始めることになるが、その運指が良いか、他の可能性はないかを考えることを習慣とし、運指の検討を行うことが大切である。指くぐりや指またぎなどがある場合、自然と運指が決まる場合もあるが、譜例1のように指くぐりや指またぎがない場合は、幾通りかの運指が考えられる場合もある。譜例1を3の指から弾き始めた場合(譜例2)と、2の指から弾き始めた場合(譜例3)とでは、どちらが良い運指と言えるだろうか。この場合は、ファではなく#ファであることから、譜例3の方が好ましいと考える力が必要となる。



譜例 2



譜例 3



#### 4.2 指ひろげを伴う運指

次に、指ひろげを伴う運指について考えたい。4歳児の曲として掲載されていた『スーパーカリフラジリスティックエクスペリアードーシャス（譜例4）』を例に検討する。

譜例 4



1段めだけを見ると、ミファソの3音が出てくることから、3の指から始めたら良いと考えられるが、次のポジションまでを1つのまとまりと捉えて、1段めだけでなく、1・2段どちらともを考えてポジションを検討する必要がある。1段めだけを考えて設定した場合（譜例5）と、2段とも考えて設定した場合（譜例6）を示す。

譜例 5



譜例 6



譜例5, 6それぞれ、指ひろげをする部分に○を入れて示した。同じフレーズでも運指によって指ひろげをする部分が違ってく

ることが分かる。指の構造から、1の指と2の指の指ひろげのほうが、3の指と5の指の指ひろげよりも動きやすいことなどを考えて検討する力が必要となる。

#### 4.3 指またぎを伴う運指

次に、指またぎを伴う運指について考えたい。5歳児の曲として掲載されていた『勇気100%（譜例7）』を例に検討する。

譜例 7



このフレーズは6音で構成されているため、指くぐりまたは指またぎが必要になることが分かる。運指を考えると、5の指から始める譜例8が王道の運指であるが、5本の指を使いにくい子どもには譜例9のような運指も考えられる。クラスでのそれまでの取組みによって、どちらの運指を選択すべきかを見極める必要がある。

譜例 8



譜例 9



#### 5. おわりに

本論では、4歳児および5歳児向けの器楽合奏集の分析を行い、さらには小学校音楽科用教科書に掲載されている鍵盤ハーモニカのための曲との比較を行った。その結果、必ずしも、年齢があがっていくほど難易度があがるわけではないことが分かった。また、小学校音楽科用教科書は運指番号が付され、教科書や指導書に示されている学習手順で児童を導くことができるが、器楽合奏集にはワンポイントアドバイスのような文言はあるものの、その曲を演奏するために必要となる演奏技術や練習方法については、自分の力で見極めていく必要があった。そこで、保育者養成校においては、演奏する力を身につけることはもちろんだが、楽譜を読みとる力、必要となる演奏技術を見抜く力、学習手順を考える力、子どもの躓きに気付く力を育成したい。学生たちは楽譜をみるとすぐに弾こうとするが、すぐに弾かず楽譜に向き合うこと、運指の基本を考えることに

取り組ませたい。

保育者養成課程に在籍する学生がどのように練習しているかを日々見ていると、弾く度に違う指使いで演奏する学生や、バイエルのように必要なところに運指が示されていても、それを守って弾いていない学生は少なくない。運指を注意されても、次の課題曲でまた同じことを指摘される場合も多い。楽譜に向き合い、運指の基本を考える学習は、結果、学生自身が演奏する際にも必要な力となってくるであろう。

- ・教育出版『音楽のおくりもの3』2020
- ・教育芸術社『小学生のおんがく1』2020
- ・教育芸術社『小学生の音楽2』2020
- ・教育芸術社『小学生の音楽3』2020

## 註

- 1) 文部科学省小学校学習指導要領解説音楽編2008年 p.73
- 2) 同上 p.74
- 3) 谷村宏子 『就学前教育としての鍵盤ハーモニカ導入の指導に関する一考察』教育学論究第4号2012 p.29
- 4) 同上 p.29
- 5) 同上 p.29
- 6) 山本千紗 『器楽学習における課題 -教育芸術社出版の分析を中心として-』翰苑vol.9 2018 p.116

## 参考文献

- ・平澤節子 『保育現場における器楽指導について -鍵盤ハーモニカ指導に関する一考察-』上田女子短期大学幼児教育学科保育者養成年報 2008
- ・谷村宏子 『就学前教育としての鍵盤ハーモニカ導入の指導に関する一考察』教育学論究第4号 2012
- ・奥田純也 『小学校低学年を対象とする鍵盤ハーモニカの指導の今日的課題に関する一考察』玉川大学芸術学部研究紀要 2016
- ・平塚菜津美 『鍵盤ハーモニカの運指の定着を目指した授業実践研究』島根大学教育輪唱総合研究 2016
- ・前田美樹 『保育者養成校における音楽指導 -鍵盤ハーモニカ導入の有用性について-』青森中央短期大学研究紀要 2017
- ・長澤順 『実践報告 「幼児音楽Ⅰ・Ⅱ」 授業実践報告と今後の課題』作新学院大学女子短期大学部研究紀要 2017
- ・辻有里 『幼児教育における音楽指導上の課題：幼稚園教諭の自由記述回答から』鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部紀要第3号 2020

## 参考楽譜

- ・株式会社自由現代社『すぐできる！器楽合奏集』2011
- ・株式会社ナツメ社『2～5歳児のやさしい・楽しい器楽合奏集』2011
- ・株式会社ドレミ楽譜出版社『こどものアンサンブル曲集』2011
- ・株式会社シンコーミュージックエンタテイメント『こどもがスグにできるたのしい器楽合奏名曲集』2013
- ・ひかりのくに株式会社『よりすぐり名曲合奏楽譜集』2013
- ・株式会社自由現代社『園で使えるやさしい器楽合奏大全集』2017
- ・株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス『たのしい楽器あそびと合奏の本』2017
- ・教育出版『おんがくのおくりもの1』2020
- ・教育出版『音楽のおくりもの2』2020